

東武工場の赤字解雇也之の職工に對する支拂は之の十日
 午前六時より罷業を決定し同時に解雇者復職甚し他の諸職
 員も工場長八島重雄之手交に之を以て
 任過 卒議勃発ト其の會社の金貨罷業多かり
 是れ卒議不参り者多智勵の工場一部を操業に更
 卒議に對する次第ト之の切斷の第一其の方法
 之の罷業者中幹部の父兄に打電の末場多也
 又之の間に之の罷業職工の設備の努力の一面を役會
 議多召集の上之の發在案トして卒議發の五謀
 者多の金貨の切斷の即時解雇也ト之の十日十日